

【資料 1】

令和8年度 教育方針と主要施策について

令和7年度池田市総合教育会議資料

基本方針1 時代の変化に対応した資質・能力の育成	基本方針2 すべての可能性を伸ばす環境の構築	基本方針3 安心して学び合える魅力ある学校園づくり	基本方針4 家庭・地域・社会における主体的な学びの推進
I 確かな学力の育成	I 一人ひとりに寄り添う支援教育	I 教職員の資質・能力の向上	I 家庭・地域の教育力向上
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>研究推進委託事業・指導者派遣事業により、「学び喜び」を実感できる学校づくりを推進【重点1】</u> ・<u>各学校園において、「好き」を育み「得意」を伸ばす教育に重点を置くことで、興味・関心を原動力とする学びを創出【重点1】</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>支援教育チーフコーディネーターを中心に、校内支援体制を充実【重点3】</u> ・医療的ケアを支える教育環境を構築 ・幼稚園通級指導教室の充実により、就学前から小学校への切れ目のない支援を実施 ・関係機関・団体との連携、必要に応じた人材の確保・育成、校内における支援体制の構築等を通して、日本語が困難な子どもたちへの支援を充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアステージに応じた研修、教科指導研修、情報技術活用研修等の充実により、教職員の資質・能力を育成 ・<u>計画的な教職員採用により、定数内正規教職員率を引き上げ、「ふくまる教志塾」の充実を踏まえ、継続的な人材の確保と育成を推進【重点5】</u> ・<u>市費加配講師や教員業務支援員の配置のもと業務改善を進め、教職員の仕事と生活の調和を図られるよう、取組を推進【重点5】</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な充実により、教育コミュニティづくりを推進【重点7】</u> ・キッズランド、児童館及び水月・五月山両児童文化センター等、子どもたちが安全・安心に過ごすことのできる環境を整備 ・<u>留守家庭児童会における実施場所及び人材の確保を図り、増加する入会需要に対応【重点7】</u>
II 豊かな心と健やかな体の育成	II 学びの場の保障と充実	II 子どもの安全を守る体制づくり	II 生涯を通じた学びの推進
<ul style="list-style-type: none"> ・人権課題への正しい理解と認識のもと、心身ともに健康な子どもを育成 ・民間の外部指導者との連携により、体育学習を充実 ・五月山体育館の屋内プールを活用した水泳学習を実施 ・学校給食において、地産地消の取組及び様々な地域・国の献立の工夫により、食事の重要性や栄養バランス、多様な食文化などへの関心を醸成 ・栄養教諭を中心に、体系的・継続的な食育を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>積極的ないじめの認知、専門家・外部機関との連携等により、いじめを見逃さない環境を構築【重点3】</u> ・<u>SC、SSW、SA 等と教員の連携、タブレット端末による相談ツールの活用を通して、いじめ・不登校問題や虐待等への早期対応を強化【重点3】</u> ・教育相談体制について、子どもや保護者の多様なニーズに応じ、相談活動を展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、避難訓練や防犯教室などを計画的に実施することで、危機予測・回避能力を育成 ・各学校園において、危機管理体制を確立し、家庭・地域と連携した学校安全体制を整備 ・通学路の確認や危険箇所の周知、ICTを活用した登下校見守りシステムにより、子どもたちの安全・安心を確保 ・スクールガードリーダーの配置、各関係機関との連携により、各学校園の安全体制づくりを継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育推進の拠点施設として、中央公民館における講座、講演会、わかりやすい情報発信を充実 ・図書館・石橋図書館において、複合施設内設置の特性を活かした事業展開により、出会い・交流の場を提供 ・<u>紙媒体による図書と電子書籍を効果的に組み合わせることで、図書館サービスを一層充実【重点8】</u>
III 未来を切り拓く力の育成	III 幼児教育の発展的充実	III 教育の質を高める教育環境の整備	III 社会教育・スポーツ活動の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>デジタル技術を最大限活用し、個別最適で協働的な学びへの授業改善を推進【重点2】</u> ・<u>各学年で重点的に育む資質・能力を整理し、計画的・系統的に情報活用能力を育成【重点2】</u> ・研修や担当者会の実施、ALTの派遣や英語専科教員の配置により、英語教育を充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園型認定こども園における教育・保育を充実 ・<u>「幼児教育サポートチーム」による幼小接続の取組強化を図り、公立・私立を問わず、就学前教育と義務教育との連続性を重視【重点4】</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な展望を見据えた「池田市未来の学校づくり推進計画」について、部局横断的な検討体制のもと早期に策定し、新しい時代の学びを支える安全・安心な教育環境の実現に向けて計画的に取組を推進 ・更新した一人一台端末の効果的な運用を踏まえ、引き続き、多様な学習形態を支える環境づくりを推進 ・<u>コミュニティ・スクールを全校へ拡充し、子どもを中心に据えた学校と地域の協働体制を強化【重点6】</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・くれは音楽堂について、音楽を軸とした池田ならではの市民つどいの場となるよう、整備を行い活用を促進 ・ライフスタイルやスポーツニーズに応じ、安全で楽しい生涯スポーツ活動を充実 ・<u>中学生の文化・スポーツ環境について、令和10年度内の地域展開に向けて環境を整備【重点8】</u> ・指定管理者との連携を図ることで、市内スポーツ施設の環境を整備し利用を促進
IV 社会形成能力の育成	IV 一貫教育による学びの連続性	IV 子どもの健康保持増進	IV 歴史・文化遺産の保存と活用
<ul style="list-style-type: none"> ・学校園が連携したキャリア教育を推進することで、義務教育終了時における自ら進路選択できる力と社会で自立して生きていく力を育成 ・コミュニケーション能力や主体性を育成する学校行事を通して、子どもたちにとって充実した学校生活を実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>小中合同研修会や相互授業参観の実施により、小中一貫教育の取組を充実・強化【重点4】</u> ・9年間の義務教育を一貫して行うことのできる施設一体型の特徴を活かし、義務教育学校における特色ある教育活動を展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校園での健康診断における医師会や歯科医師会との連携、感染症対策等により、子どもたちの健康を保持増進 ・栄養バランスの取れた献立、地域の特色や季節感を感じられるメニュー等の工夫により、子どもたちに喜ばれる給食を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護について、各種資料の調査研究、収集・保存、文化財の公開や展示協力を実施し、郷土の歴史・文化遺産の魅力を発信 ・歴史民俗資料館において、資料の調査・収集、整理・保存、展示や学校への出前授業を実施し、池田の歴史・文化を発信 ・市史編纂成果の発信と公開、将来の編纂に備えた継続的な資料調査を実施